

大気科学研究部門第2回成果報告会



東京理科大学総合研究院大気科学研究部門の成果報告会を行いますので、ぜひ、ご参加ください。

日時 2018年3月22日(木) 13:00-18:15

場所 森戸記念館第一フォーラム/第一会議室 <http://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

【大気境界層～自由対流圏】

- 13:00-13:15 広角カメラを用いた Balloon trajectory velocimetry の拡張 仲吉 信人 (東京理科大学理工学部)
- 13:15-13:30 二次粒子のモデル再現性に対する NH₃ 排出構造の不確実性評価 櫻井 達也 (明星大学)
- 13:30-13:45 FY2013-2016 における山口県山陽小野田市の大気中粒子状物質の経年変化
浅野 比 (山陽小野田市立山口東京理科大学共通教育センター)
- 13:45-14:00 東アジア下流域で長期地上観測した BC 湿性沈着フラックスの季節変動 森 樹大 (東京理科大学理学部)
- 14:00-14:15 高い雲粒数濃度をもつ下層雲における降水形成 三隅 良平 (防災科学技術研究所)
- 14:15-14:30 富士山頂のラドン濃度の日変動の代表性とそのラドンの起源 永野 勝裕 (東京理科大学理工学部)
- 14:30-14:45 山岳および都市大気エアロゾルの新粒子生成、成長、雲生成に関する研究
三浦 和彦 (東京理科大学理学部)
- 14:45-15:00 自由対流圏大気中揮発性有機化合物に対する航空機排ガスの影響評価
大河内 博 (早稲田大学)、○皆巳 幸也 (石川県立大学)
- 15:00-15:15 UAE から日本に至る自由対流圏で観測されたエアロゾルの特徴 財前 祐二 (気象研究所)
- 15:15-16:00 ポスターセッション (コーヒーブレイク)

【海洋大気】

- 16:00-16:15 秋季の東シナ海および本州南岸沖で採取された金属元素を含む粒子の形態と混合状態
岩本 洋子 (広島大学生物圏科学研究科)
- 16:15-16:30 北極海・ベーリング海上での大気エアロゾル船上観測 竹谷 文一 (JAMSTEC)
- 16:30-16:45 北極ニーオルスンで採取したエアロゾル粒子の電子顕微鏡分析 足立 光司 (気象研究所)

【光学特性・放射】

- 16:45-17:00 偏光 OPC 観測ネットワークによる 2017 夏期観測結果及び精度向上のための検討 小林 拓 (山梨大学)
- 17:00-17:15 SKYNET 観測網によるエアロゾル組成の地上リモートセンシング 工藤 玲 (気象研究所)
- 17:15-17:30 エアロゾルの光学的特性の時空間変化 青木 一真 (富山大学大学院理工学研究部)
- 17:30-17:45 太郎坊上空における大気境界層高度の特徴～2015-2017 年夏期ライダー観測より～
矢吹 正教 (京都大学生存圏研究所)
- 17:45-18:00 大気物理をベースとした大気リモートセンシング及び再生可能エネルギー推定への展開
中島 孝 (東海大学情報技術センター)
- 18:00-18:15 総評 (藤田 慎一、植松 光夫、中島 映至)
- 18:30-20:00 交流会 (PORTA 神楽坂 6F 理窓会倶楽部)

ポスターセッション (26 件) (森戸記念館 2 階第 1 会議室)

黄砂および汚染黄砂の同位体分析とキャラクターゼーション	野島 雅 (東京理科大学総合研究院)
名古屋都市域の南北 2 地点における光学的黒色炭素濃度の時間変化	長田 和雄 (名古屋大学)
能登半島における新粒子生成イベントの季節的特徴	松木 篤 (金沢大学)
環境大気中の水素濃度測定	加藤 俊吾 (首都大学東京)
都内における PM _{2.5} の濃度変動要因に関する研究	齊藤 伸治 (東京都環境研究所)
東京スカイツリーを利用した氷晶核のモニタリング観測: 初期解析の結果	當房 豊 (国立極地研究所)
2010 年夏季に首都圏で発生したオキシダント高濃度事象のモデル解析	吉岡 実里 (明星大学大学院 M1)
地熱発電所建設に係る環境影響評価のための RANS モデル適用可能性の検討	辻本 優一郎 (明星大学大学院 M1)
海表面温度データ改良による気象シミュレーションの精度向上実験	金子 凌 (東京理科大学理工学研究科 M2)
2015~2017 年夏季の富士山頂における雲凝結核の特性	佐藤 光之介 (東京理科大学理学研究科 M2)
東京都心部におけるガス状・粒子状物質の鉛直濃度分布に関する検討	田中 清敬 (東京理科大学理学研究科 M2)
西部北太平洋で捕集した海塩粒子の物理化学特性	吉末 百花 (東京理科大学理学研究科 M2)
2016-2017 年の東京スカイツリーで観測された新粒子生成の季節変化	佐藤 文徳 (東京理科大学理学研究科 M1)
2016-2017 年南関東における大気エアロゾルの吸湿特性に関する研究	関根 広貴 (東京理科大学理学研究科 M1)
東京スカイツリーで測定した大気エアロゾルの雲凝結核特性と雲粒特性	前田 麻人 (東京理科大学理学研究科 M1)
天空輝度を用いた水蒸気波長のセルフキャリブレーション法の開発	桃井 裕広 (東京理科大学理学研究科 M1)
富士山におけるラドン娘核種の変動と山谷風の関係	横山 慎太郎 (東京理科大学理学研究科 M1)
太陽直達光を用いた雲除去手法の開発	安齊 真央 (東京理科大学理学部 B4)
富士山頂における新粒子生成の経年変化	五十嵐 博己 (東京理科大学理学部 B4)
2017 年南関東における大気エアロゾルの吸湿特性	岩田 拓己 (東京理科大学理学部 B4)
2016-2017 年における富士山麓の新粒子生成	大塚 拓弥 (東京理科大学理学部 B4)
2017 年夏季の富士山頂におけるエアロゾルの雲粒特性	小菅 愛加里 (東京理科大学理学部 B4)
富士山頂・太郎坊で捕集したエアロゾル粒子の個別分析	児玉 真一 (東京理科大学理学部 B4)
福井県越前岬における BC とイオン湿性沈着フラックスの季節変化	鈴木 佑果 (東京理科大学理学部 B4)
南関東の地域的な輸送における大気エアロゾル粒子の変質	瀬野尾 碧 (東京理科大学理学部 B4)
2017 年に観測された南関東の都市部と郊外におけるエアロゾルの光学特性の比較	土方 諒 (東京理科大学理学部 B4)